

企業理念、グループ概要、目次、編集方針

マネジメント

- トップメッセージ
- ESG経営
- 東京建物グループのマテリアリティ

特集

環境

- 環境マネジメント
- サステナビリティファイナンス
- グリーンビルディングに関する外部評価・認証
- 気候変動への対応
- 汚染防止と資源循環

> 水資源

- 生物多様性
- 自然災害対策

社会

- ダイバーシティ&インクルージョン
- ワークライフバランス
- 人材投資・育成
- 健康経営／労働安全衛生
- 人権の尊重
- 品質・お客様満足の向上
- 不動産ストックの再生・活用
- 地域社会への貢献

ガバナンス

- コーポレート・ガバナンス
- リスクマネジメント
- コンプライアンス
- サプライチェーンマネジメント

データ集

第三者保証

## 環境

# 水資源

### 方針・考え方

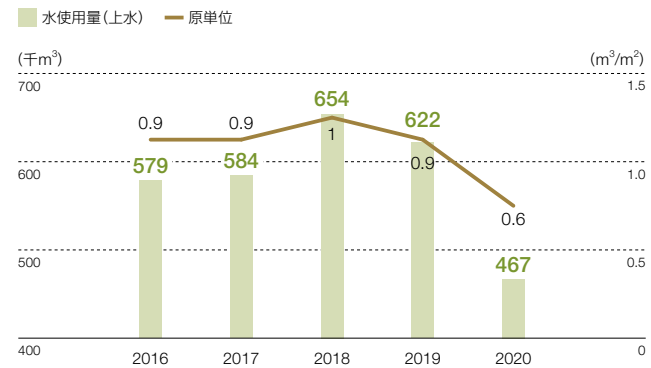
世界的な水不足が深刻化しているなか、先進国を含む世界全体での水利用効率の継続的な改善が求められています。

当社グループは「グループ環境方針」において「地球にやさしい省資源活動」を掲げており、水資源は、デベロッパーとして、豊かで快適な空間の創出を続けていくために不可欠な要素であると認識しています。そのため、あらゆる機会を通じて省資源活動や環境負荷の低減に努め、水資源の保全に取り組んでいます。

📖 環境マネジメント P.15

📖 (データ集)水資源の指標と実績 P.69

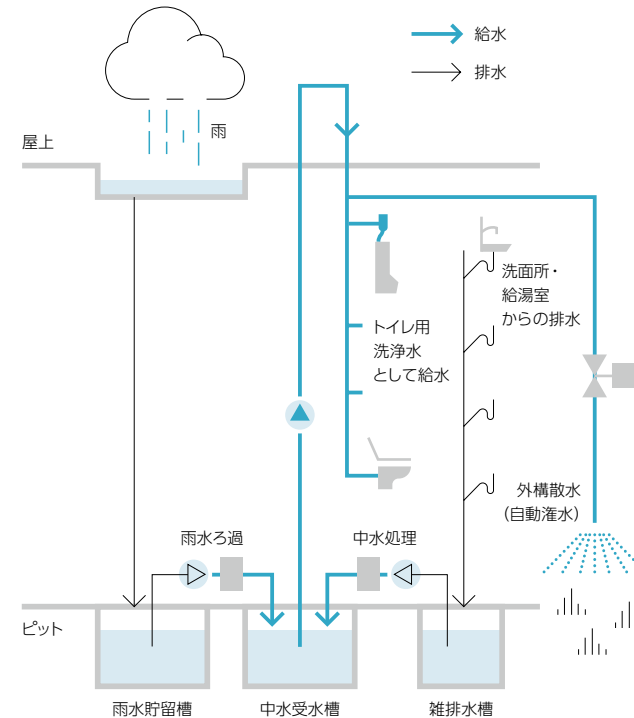
### 水使用量(省エネ法対象施設)



### ビル事業における水資源への取り組み

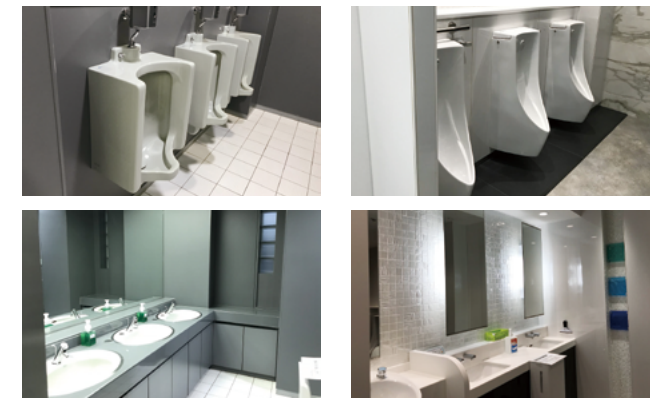
#### ■ 中水の有効活用

当社は、雨水・中水をビル内で処理する設備を積極的に導入しています。例えば、冷却塔のブロー水、テナント様の厨房などの排水や雨水を処理した「中水」を、トイレの洗浄水や外構部の植栽散水用などの非飲料用途で再利用することで、水資源の削減を進めています。



#### ■ 節水機器の導入

当社は、20年単位での中長期の修繕・投資計画を策定しています。計画的にリニューアル工事を推進するとともに、トイレのリニューアル工事の際には、節水器具への更新、自動洗浄装置の導入など、水資源の削減に努めています。



東京建物梅田ビルトイレリニューアル工事  
左:改修前 右:改修後

#### ■ 水質汚濁の防止

当社は、水質汚濁に係る法令・条例等の規制対象となっているビルにおいて、排水処理施設を設置し、排水を基準以下になるよう処理したうえで、下水道や河川・海などの公共用水域へ放流しています。